

【(10) 授業の評価・まとめ】

②「相互評価を取り入れている」

《つまずきの背景》

Ｌ セルフモニタリングの困難さ、Ｐ 自尊感情の低下

《解説》

自己評価をさせるだけでなく、グループ活動やペア学習などで相互評価を行うことで、友達のよさに気付いたり、友達に認められたという思いを持ったりし、学習意欲を高めることにつながります。

学級の中には、自分の授業態度を振り返ることが難しい子どもや自分の言動に自信が持てない子どもがいる場合があります。グループ活動やペア学習などで頑張っている友達のよい点を書くようにしたり、自分の様子を書いてもらったりするなどの相互評価を行うことで、子どもが自分の言動を振り返ることに役立ち、自信を持つことにもつながります。

自己評価と相互評価を組み合わせたり、評価カードに教師がコメントを入れて返したりするなどすると、子どもが効果的に振り返りをすることができます。

【工夫点】

- ・ 自己評価や他者評価を取り入れ、多面的な評価を行う。(小中高)
- ・ 友達のよかったことや頑張っていることを発表させる。(小中高)

グループ活動やペア学習などで、友達のよかったところや頑張っていたところを評価カードに書いたり、発表したりすると、お互いのよいところを認め合うことにつながります。

